

◆7. 土壌の分析

2011年3月11日、東日本大震災による放射性物質（特にセシウム）の濃度・空間線量について、当時は、守谷市ほか各市の数値が高く、一部、風評被害も生じていました。

また、震災から10年経過した2021年に国立研究開発法人森林研究・整備機構と筑波大学により、放射性セシウムに関する下記の発表がありました。

PRESSRELEASE 2021/1/19

タイトル「核実験由来のセシウム137は半世紀後も森林内に留まっていた」

今回は、地区の土壌の安全性を科学的に証明するため、ボーリング調査において採取した土の分析を行い、放射性セシウムの濃度を明らかにしました。

その結果、放射性セシウムの1kg当り濃度は『82ベクレル』であり、食品の基準値である100ベクレルより低い値でした。

今回の分析結果により、放射性セシウムに関する地区の安全性が証明されました。

◆8. 準備会ホームページの反応

令和3年12月1日に開設した準備会のホームページは、令和4年5月末時点で総閲覧回数が5,379回でした。

〈月別〉

令和3年12月	608回
1月	740回（前月比+22%）
2月	905回（〃 +22%）
3月	665回（〃 -26%）
4月	985回（〃 +48%）
5月	1,476回（〃 +50%）

◆9. 事業者の誘致に関する調査の実施について【公募】

公的機関・民間企業を問わず施設の誘致を推進するため、事業者への調査を実施いたします。

方法：令和4年5月9日、準備会ホームページに下記の内容を公開しました。

内容：調査要領・調査シート・調査対象地（地区内の土地のブロックを図示）

詳しくは、準備会ホームページ（下記URL）をご覧ください。

〈URL〉 <https://shinmoriya-kukaku.com/>

なお、この広報紙の発行日（6月8日）時点で、調査シートのダウンロードが48件、申し込み1件を確認いたしました。

6月30日の募集締め切り後、整理・確認等を行い、皆様に詳細をお知らせいたします。

◆1. 第15回準備会役員会の報告

日時：令和4年3月16日（水）

場所：準備会事務所

出席：準備会委員8名・同席者1名

守谷市都市計画課2名

業務代行予定者（三井住友建設株）4名、業務提携企業2名、事務局2名

議事：① 報告：関係機関（茨城県・警察関係）との協議

② 道路計画の方針について継続審議

③ 用途地域の方針について継続審議

④ 企業誘致に関する公募について継続審議、その他

◆2. 第16回準備会役員会の報告

日時：令和4年4月13日（水）

場所：準備会事務所

出席：準備会委員9名

守谷市都市計画課2名

業務代行予定者（三井住友建設株）4名、業務提携企業2名、事務局2名

議事：① 報告：関係機関（茨城県・警察関係）との協議

：不動産鑑定評価（区画整理前、区画整理後の想定）・測量・調査

② 地権者説明会の内容

③ 道路計画等について継続審議、その他

◆3. 第17回準備会役員会の報告

日時：令和4年6月1日（水）

場所：準備会事務所

出席：準備会委員9名

守谷市都市計画課2名

業務代行予定者（三井住友建設株）4名、業務提携企業2名、事務局2名

議事：① 報告：関係機関との協議

：進出希望企業の意向等

② 用途地域の方針

③ 道路計画の方針

令和4年6月8日発行

新守谷駅周辺土地区画整理組合
設立準備会事務局

〒302-0119 守谷市御所ヶ丘3-9-1

TEL 0297-21-4677 / FAX 0297-21-4678

〈E-mail〉 info@sm-kukaku.com

〈URL〉 <https://shinmoriya-kukaku.com/>

◆4. 地権者説明会

令和3年3月28日、同11月28日に引き続き、下記のように地権者説明会を開催させていただきました。

日時：令和4年4月24日（日） 10時より

場所：守谷市役所大会議室

出席：準備会役員7名

地権者4名・同伴者2名

守谷市都市計画課2名

業務代行予定者（三井住友建設㈱）4名、業務提携企業7名、事務局2名

議事：① 報告事項

- ・関係機関との協議
- ・不動産鑑定評価
- ・測量・調査

② 移転補償のための物件調査について

③ 事業者の誘致に関する方針について

④ 貸地料収入の例・試算について

- ・換地に関する地権者の皆様のご意向のうち「貸地」を希望される方が最も多いことから、区画整理後の貸地料収入を試算し例示させていただきました。

⑤ 質疑応答

⑥ 個別面談（3組）



◆5. 境界測量について

土地区画整理事業の施行予定区域を確定するため、関係する皆様に境界杭などの現地確認をお願いし、令和4年3月末に全ての境界の測量と計算を完了しました。

現時点における施行予定区域の面積は、**135,282.59㎡（40,922.98坪、約13.5ha）**となりました。
※1ha=10,000㎡=100m×100m÷3,025坪

守谷市では、これまでに本地区と同じ「組合施行」の土地区画整理事業が4地区で実施されています。参考に、各地区の施行期間と面積を記載します。

〈地区名〉	〈施行期間〉	〈面積〉
① 守谷東特定	昭和63年～平成19年	約39.5ha
② 乙子高野	平成5年～平成12年	約33.0ha
③ 原東	平成23年～平成26年	約2.2ha
④ 松並	平成23年～平成29年	約41.8ha

◆6. 補償物件調査について

対象：移転の可能性のある全ての物件

目的：① 土地区画整理事業の事業計画の策定 ※事業費の一部となる補償費の算定

② 正確・早期の情報提示

③ 移転の準備期間の確保

日程：調査・補償費の算定 期間約12カ月 令和4年5月16日開始

方法：物件への立ち入り調査・資料調査

※守谷市長が発行する身分証明書を携帯した者が個別にお知らせ・訪問

※調査機関：(株)オオバ

説明会：10月末頃を目安に移転・補償説明会を開催する予定です。

本事業の推進のため、地権者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

季節の植物 クレマチス



キンポウゲ科/センニンソウ属（クレマチス属）

日本には変種を含めて約35種のクレマチスが分布しており、その半数ほどは日本の固有種です。

日本の野生種は、花の色や形がさまざまで、種内変異が見られる種類もあります。



クレマチスは一季咲きと四季咲きがあります。

3月頃から花を楽しめる早咲き品種、5～10月頃まで数回にわたって花を楽しめる四季咲き品種、10月頃から翌春まで楽しめる冬咲き品種まで、一年を通して親しまれています。

写真：事務局

国立科学博物館 筑波実験植物園